

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

『北九州では22年ぶりの全国壮年大会』

聖句：『自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。』ローマ12:1
全国壮年大会実行委員長 梅木芳昭 (大分キリスト教会)



北九州壮年会連合は神学校週間に合わせ「神学校を覚えて」集会を持ち昨年度は遠藤光子神学生(西南神学部)と桑原伸良神学生(九バプ)を招き証と交わりの時を持ちました。開会礼拝献

金も両神学校に献金をするのです。

また、私の所属する大分教会では神学校週間には必ず神学生をお呼びして大分県3教会(臼杵・別府国際)合同で前日の土曜日にバーベキューに50名近くが集まり交わりなどの時が恒例行事となっています。

今年は豊前教会も参加する予定です。翌日の主日礼拝は神学生の説教・証して礼拝を守り、礼拝献金も神学校献金として献げています。

北九州はバプテスト連盟設立時6教会が参加、バプテストのパッション魂を見るのです。大会会場の西南女学院とシオン山教会は共に94年の歴史を持ちマロリーホールのステ

ンドグラスに心を癒されロウ講堂や宣教師墓地も敷地内にあるのです。日本伝道に生涯をささげた先達に感謝と祈りを献げたいものです。

大会主題『連帯と祈り』、主題講師『田口昭典牧師』、講演を受け田口昭典牧師と奥田知志牧師の対談、そして壮年会、女性会、青年会の方々とパネルディスカッションと魅力的なプログラムなのです。2日目壮年会総会時には女性交流会『西南女学院キャンパスツアー&Café』東彩子さん(小倉教会員・西南女学院保育科講師)がコーディネートしていただきますので女性の方々にも楽しいひと時を過ごしていただけるものと思います。大会終了後にはオプションとして西南の森(宣教師墓地)、抱樸館北九州、東八幡教会(軒の教会)の見学ツアーをご用意しています。「第51回全国壮年大会in北九州」は皆様の参加をお待ちしています。



(肉と魚を焼く壮年たち)

在主。

公 示

2016年度総会において以下の通り選挙を行います。

<立候補対象>

- 2017・18年度 奨学金委員長 1名 「全国壮年会奨学金規程」第5条2項による。
立候補者は当選後、総会にて4名の奨学金委員を指名し承認を得ることとなりますので、事前に選考願います。
- 立候補締切り：2016年7月31日
- 全国壮年会連合規約細則第23条による選挙管理委員会の委員長宛に、書面で届出をしてください。
届出の内容は「立候補する職務名(今回は奨学金委員長)、氏名、所属教会、受浸年月日」を記載してください。様式は自由

<届出先>

選挙管理委員長：曾根基雄 (南九州地方連合壮年会長)

(〒881-0027 宮崎県西都市南方2676-6 日本バプテスト児湯キリスト教会 気付け)

選挙管理委員：山田誠一(東京地方連合壮年会長) 松田裕二(中国・四国地方連合壮年会長) 梅木芳昭(北九州地方連合壮年会長)

注) 選挙管理委員会は、総会当日まで立候補者名は公表しません。ただし立候補者ご自身のご判断で公表されることは自由といたします。

2016年度総会議案

1	1-1	2015年度全国壮年会連合活動報告 資料:2015年度神学校献金・会費一覧(2015年度実績)	4-3	全国壮年会奨学金貸与額等に関する細則制定の件	
	1-2	2015年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告	5	2016-2017年度全国壮年会連合活動計画案	
	1-3	2015年度監査報告(業務監査)	6	2016-2017年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案	
2	2-1	2015年度一般会計決算報告	7	7-1	2016年度全国壮年会連合一般会計修正予算案及び 2017年度全国壮年会連合一般会計予算案
	2-2	2015年度奨学金会計決算報告		7-2	2016年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案及び 2017年度全国壮年会連合奨学金会計予算案
	2-3	2015年度日本バプテスト連盟神学生奨学金会計決算報告	8		2017-2018年度奨学金委員長選挙に関する件
	2-4	2015年度監査報告(会計監査)	9	第53回(2018年度)全国壮年大会担当地方連合の件	
3		2017年度神学校献金(神学生奨学金献金)目標額の件	10	2017年度 総会議長の件	
4	4-1	全国壮年会連合奨学金規程改正に関する件			
	4-2	専ら伝道の業に従事する者に関する規程改定の件			

《神学生証》 「九州バプテスト神学校 牧師コースに進学して」

牧師コース1年 田口圭子（長崎バプテスト教会）



私は九州バプテスト神学校で3年間の本科の学びを終えて、今春から牧師コースに進学しました。九州バプテスト神学校は、私のようにフルタイムで仕事をしながらでも通信で学ぶことができるので本当に感謝しています。

私は1993年4月に東京の恵泉バプテスト教会で信仰告白をし、バプテスマを受けました。そして翌年、長崎に転居し、長崎バプテスト教会に転入会しました。

長崎バプテスト教会は、2002年に創立100周年を迎え、その年多くの記念事業が行われました。私は奉仕者として関わる中で、主の奇跡の御業を幾度も見る事ができました。想像を超える主の存在に圧倒されながら、私は次第に献身したいという思いを持つようになりました。しかし具体的にどのようにして献身すれば

いいのか、また私の思いは御心に適うものなのだろうかと自問自答する日々を過ごしていました。

しかしあるとき、「あなたは神学校に行きなさい」との声が聞こえ、背中を強く押されるような感覚を覚えました。それは3年前の1月初めのことです。その後、教会生活を通して、教会の方々の祈りに支えられて、4月に神学校に入学が許されました。

入学してからの3年間はビデオを溜めないように授業を受けること、またレポートを期日までにきちんと提出することに追われて、本当に慌ただしい毎日でした。

第1コリント12章31節に、「あなたがたは、もっと大きな賜物を受けるよう熱心に努めなさい。」とあります。私は、キリストの体の一つの部分として、必要であるのに働き手の少ないところで用いていただけるように、これから牧師コースで学んでいきたいと思っています。どうかこれからも私たち神学生のために、引き続きお祈りとお支えをよろしくお願い致します。

《きたかん壮年会》 期待する壮年の働き・今後のきたかん壮年会に何が求められているか

北関東地方連合 壮年会長 石井 努（群馬・日本バプテスト前橋教会 太田伝道所）

聖名賛美。



わたしたち北関東地方連合は、当初から仲が良く交わりの多い集まりでありました。高校生の頃には「ワークキャンプ」と称してペンキ塗りや会堂の清掃などの奉仕に訪問し合ったことを覚えています。壮年同士の交わりも教会という枠を超えて少なからずなされていたように思います。

2010年に「きたかん壮年会」という組織的な活動を始めてから、毎年一回であった研修会は総会を含めて二回となり、それに加えて神学校献金の推進をはじめ相互訪問や伝道隊派遣など多くの働きを担って来ています。最近何年かの研修会テーマを振り返ってみますと、「献身者を産み出す教会形成への壮年の役割」「期待する壮年の働き・今後のきたかん壮年会に何が求められているか」「いま、バプテストを生きる・壮年と聖書」「賛美について」「わたしたちのバプテスト」というテーマが与えられ壮年それぞれが、働きの中でいかに主に仕えてい

けるであろうかと研鑽を重ねてきた事が示されています。バプテストの信徒として教会に派遣されて、様々なバプテスト理解の中に立つ壮年達が、心を合わせて主に向かって共に歩く豊かさに生かされるのには、何よりも壮年一人一人が垣根をはずし、手を取り合う事が必要であると以前から感じておりました。私自身そのような交わりの中で今日まで生かされて来た証人であると自負しています。み言葉に聞き相互の交わりを深めてこそ、主のご命令に生きる群れが形成されていくと信じています。北関東地方連合の壮年の皆様、全国の壮年同志の皆様、共に祈り、み言葉に生かされて歩みを進めて行きましょう。イエスは言われた。「わたしが命のパンである。」 アーメン。



日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務:月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp